

観測史上最も遅い梅雨入りが宣言されました。一時はどうなることかと思われたのですが、一安心です。雨が降りすぎるのも困りますが、降らないのも困ります。昨年のような災害に結びつくような梅雨にならないことを祈っています。

さて、加東市が交流をしているオリンピア市から交換留学生

が来ました。生活科学科3年と1年生の全クラスがHRで対応しました。生活科学科では、調理実習を一緒



にしてその後、食事を供にしました。だし巻きとそうめんを作ったようです。食事後は、書いた短冊を張って団扇を制作したり、折り紙を折ったり、キラキラ星を英語で歌ったりと交流を深めました。留学生の皆さんは、生活科学科の生徒の手本を見ながらだし巻きをうまく作っていました。心のこもったおもてなしができたようです。3年生の皆さんお疲れさまでした。また、1年生では、各クラスに3人ずつ分かれて留学生に入ってもらって、質問をしたり、話をしたりしていました。アメリカは車社会のため、鉄道は古くからあるのですが、日本の新幹線のようにスピードが出るものはあまり普及していないようで、日本に来たら新幹線に乗りたいという希望があったようで、その話題で盛り上がりました。外国の方と直接触れ合うことで、英語への関心が持てるようになります。いつものことながらよい機会をいただきました。(写真1,2,3が生活科学科3年生との交流、写真4が1年2組、写真5が1年1組です。)



6月27日付神戸新聞に掲載されました。(6)
意外なところに卒業記念品がありました。職員室に掛けてある時計ですが、よく見ると62回生卒業記念品とありました。クラス減で使用しなくなった教室の電波時計を職員室に持ってきたということでしたので、校舎内を探せばまだ在庫はあるのかもしれませんが、まだ校内に卒業記念品はあると思うので、見つけた方はお知らせください。紹介させていただきます。よろしくお願いします。(7)



6月27日には2年生活科学科の調理実習で、神戸マイスター認定の武田利史(琴平グランドホテル紅梅亭調理部部長)様に来ていただき、「新生姜御飯、寄せ玉子、汁物」の調理指導をしていただきました。

生徒たちは手際よく、片付けと並行しながら生姜を切ったり、玉子をといたりしていましたが、切り方や汁物に葉物を入れる温度など細かな注意を受けており、食材を生かす細かな気遣い等を教えていただきました。



先日の世代間交流の授業の時に来ていただいた料理の鉄人大田忠道様に師事された方に、このような形でご指導いただけるのは、生徒にとっても貴重な体験となったことでしょう。3年生の生活科学科の生徒に今までの授業や活動で印象に残ったことを聞くと料理の鉄人、達人に話を聞き指導してもらえたことを上げる生徒が多かったので、まさに食に関するプロを目指す学科としての取組の成果となっていると思います。食に関する知識をどんどん増やしてほしいと思います。このように他の学校では経験できない授業や活動が本校の生活科学科の魅力となっていることは間違いありません。中学生の皆さんや地域の方々にも伝わるように今後も広報していければと思います。

来週からは期末考査です。考査後に大会を控えている部もあり、部活動をしながらというところもあるかと思いますが、やるべきことをしっかりやって気持ちよく次に進んでほしいです。自分の気持ちの持って行き方で学習の定着度も変わってきますから自分のやれることを精一杯やって考査に臨んでください。